

## PRP治療の導入のお知らせ

### ①PRP療法とは

PRP療法とは、Platelet(血小板), Rich(豊富な), Plasma(血清) の略で自身の血液の血小板の成分を使用して行う再生医療の一つです。

血小板には止血効果、炎症反応、免疫反応、感染防御作用があり、動脈硬化、癌転移や発育などの生体反応に関わるとされています。また血小板からは、成長因子やサイトカインといわれる因子など様々な生理活性物質が分泌され、これらの成長因子やサイトカインが組織修復作用や抗炎症作用を発現します。

その作用を利用したのがPRP療法であり、関節内で起きている炎症の活動性を抑えることで疼痛の改善を期する治療で、従来のヒアルロン酸注射などの注射治療と異なり、自身の血液を使用し、生体が持つ自然な治癒反応により組織を修復します。

近年、有名プロスポーツ選手などの治療としても注目を集めております。

本治療は入院の必要がなく外来通院で可能であり、手術療法と比べ患者様の負担・制限が少ない治療です。

### ②治療適応

現行の治療と比較しますと、保存療法と手術療法の間絶的な位置付けの治療で患者様自身の治癒能力をサポートする治療方法です。変形性膝関節症において軽症から中等症の関節症に対しての適応となり、

「手術の決心がつかない」、「今行っている保存療法の効果が乏しい」

「手術ではない方法で治療を試みたい」など痛みでお困りの患者様が対象となります。

また本治療はスポーツ選手の治療による負担を減らし早期復帰を期するために注目されている治療方法のひとつです。ご自身の血小板を使用した治療ですのでアレルギー反応がおきにくいのも特徴です。

### ③治療内容

現在自由診療で行われており、当院では以下の2つの治療を行っております。濃縮精製の方法の違いにより、適応部位・効果が異なります。

#### 関節軟骨の治療

⇒APS (Autologous Protein Solution) : 新世代のPRP療法

自身の血液より抽出したPRPから抗炎症成分を高濃度に抽出したもの

- ・抗炎症性サイトカインの炎症抑制による疼痛緩和
- ・同化・成長因子による細胞保護

#### 靭帯・腱の治療

⇒GPS III (Gravitational Platelet System)

血液を遠心分離し抽出した多血小板血漿 (PRP)

- ・血管新生の促進による組織新生促進

#### ④適応疾患

- ・ APS (Autologous Protein Solution)

→変形性関節症 (肩関節、股関節、膝関節、足関節)

- ・ GPS III (Gravitational Platelet System)

→靭帯損傷、筋付着部炎、腱鞘炎、筋損傷

例：アキレス腱炎、テニス肘、ゴルフ肘、肩関節周囲炎、肘側副靭帯損傷など

\* 本治療が受けられない患者様

- 1、免疫抑制剤や抗がん剤治療中、またはがんの治療中の方
- 2、重度の貧血を認める方
- 3、薬剤アレルギーをお持ちの方
- 4、発熱や感冒症状を認める方
- 5、出血傾向、白血病の治療中の方
- 6、活動性炎症疾患（リウマチ、膠原病など）に罹患している方

適応の診断に関しては初回受診時に医師による診断があります。

#### ⑤受診方法

まず、かかりつけの整形外科の先生に紹介状を作成して頂き、当院の一般外来の受診予約を取って頂きます。診察後、治療適性があればPRP専門外来を予約します。

#### ⑥治療に関するお問い合わせ

予約、内容の問い合わせは当センター（089-960-5556）までご連絡ください